

News Release

P T P 直接装填 『次世代』錠剤供給ユニット E-D r o p を新発売 - P T P シートの除包から分包までの自動化を実現 -

株式会社エルクコーポレーション（本社：大阪府大阪市中央区）は、P T P 直接装填 次世代錠剤供給ユニット「E-D r o p（イードロップ）」を 2012 年 11 月（予定）に発売いたします。

「E-D r o p」は当社が薬局向けに販売している全自動分包機「E-F A S」に接続して使用し、調剤薬局の一包化作業を大幅に軽減することができます。

■ 販売の背景

現在の日本では 65 歳以上の高齢者が 3074 万人※1 に達し、全人口の約 4 分の 1 を占めるまでになりました。高齢者の増加に伴い、飲み忘れや誤飲防止※2 を目的に 1 回に飲む薬をまとめて分包する一包化作業が増えてきており、この作業を自動化・省力化するニーズはますます高まっています。

当社を含めて一包化作業を自動化する製品としては、専用のカセットにあらかじめバラの錠剤をセットし、分包する方式の製品が存在しています。しかし、バラの錠剤在庫の負担や専用カセット等のコスト上の問題から一部の薬局の導入に留まっており、多くの薬局では薬剤師が一粒ずつ指で押して P T P シート※3 から取り出す（除包）作業が行われているのが現状です。

本製品はこの作業を、P T P シートをセットし条件を入力するだけで分包まで行うことができる次世代の錠剤供給ユニットです。本製品を導入することによって、一包化作業の負担を大幅に軽減できます。また、ジェネリック医薬品の利用促進に伴い医薬品在庫が増加しております。本製品は従来の製品と異なり、バラ錠在庫を別途用意する必要がありませんので、在庫されている P T P シートをそのまま一包化に使用できます。

E-F A S に E-D r o p をセットした図

全自動分包機 E-F A S



※ 1 総務省 2012 年 9 月 16 日発表の統計資料より引用

- ※ 2 医薬品を飲み間違えの他、PTP シートのまま飲み込んで喉や食道などを傷つけるおそれがある
- ※ 3 薬をアルミなどの薄い金属とプラスチックで1錠ずつ分けて包装したもの

■ E-Dropの特長

① PTPシート2列マルチサイズ対応

PTPシート2列の錠剤・カプセル共に使用でき、10錠シート・14錠シート（ウィークリー）サイズ両方に対応しています。

※3列シート、両面アルミ箔のシート等、一部薬剤のPTPシートでご使用いただけないものがございます。

② 独自技術による高い除包性能

独自に開発した技術により、さまざまなPTPシートから高い精度で錠剤・カプセルを除包することができます。

③ 液晶タッチパネルで簡単操作

本体に内蔵された5.7インチのタッチパネルから、ユニット毎に分包条件を簡単に設定することができます。

④ 最大12ユニット装着可能（標準6＋増設6）

最小6ユニットで1段の構成からご使用いただけます。追加で6ユニット1段の増設が可能であり、最大12ユニットで運用することができます。

■ 主な仕様（E-FAS含む）

構成	6ユニット一段	12ユニット二段
外形寸法	W896×D722×H1594 (mm)	W896×D722×H1790 (mm)
重量	252kg	297kg
消費電力	最大 1500VA	

【本件に関するお問合せ先】

株式会社エルクコーポレーション

営業統括本部ヘルスケアビジネス推進部

ファーマシーグループ

TEL 03-3814-8229 FAX 03-3814-9807

E-mail : info@elkc.co.jp